MAU M&L

助手展2015　武蔵野美術大学助手研究発表

The Research Associate Exhibition 2015

本展の趣旨

このたび、武蔵野美術大学 美術館・図書館では、本学の“助手”有志による展覧会「助手展2015　武蔵野美術大学助手研究発表」を開催いたします。

“助手”は、研究室の一員として、授業運営をはじめ多様な役割を担っています。教員や学生と密接にかかわりあいながら両者をつなぐ、いわば研究室の要です。美術教育の現場において最前線に立ち続ける彼らは、同時に一人のアーティスト、あるいはデザイナー、研究者としての顔を持ち、日々制作や研究に取り組んでいます。「助手展」では、そのような助手49名の研究成果を一堂に展観いたします。

1975年に始まった本展は、今年40年の節目を迎えます。当初から、出品者である助手自身が企画運営に携わることで、展覧会を独創的かつ実験的な場に作り上げてきました。そして本年度は運営に15名の助手が集い、会場構成からイベント、広報、記録集発行まで、過去に鑑み未来につなげる展覧会を作り上げます。

みずみずしくも研ぎすまされた感性溢れる多彩な表現を、その展示空間もあわせてどうぞお楽しみください。同時代、さらには新しい時代の表現の可能性を全身で感じていただける機会となれば幸いです。

会期：
2015年11月24日（火）―12月19日（土）

展示の見所

■ 多種多彩なジャンルで活躍する計49名の若手作家による最新未発表作の展示

専門性を活かし各研究室で活躍する助手たちは、表現者、研究者として、学外での活動も盛んに行っています。日本画、油絵、版画、彫刻、グラフィックデザイン、工芸、建築、写真、映像、メディアアートなど、様々なジャンルで第一線を走る若手作家49名が本展に合わせて制作した最新作をご覧いただけます。

取材・掲載のお問合せ：
武蔵野美術大学 美術館・図書館
美術館広報担当（植松、鳥越）
tel: 042-342-6003
fax: 042-342-6451
mail: prmsm@musabi.ac.jp
http://mauml.musabi.ac.jp/

出品者略歴（抜粋）

松崎　雄一

1989年東京都生まれ。2012年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科クラフトデザインコース金工専攻卒業。現在、工芸工業デザイン学科研究室（インダストリアルデザイン）助手。

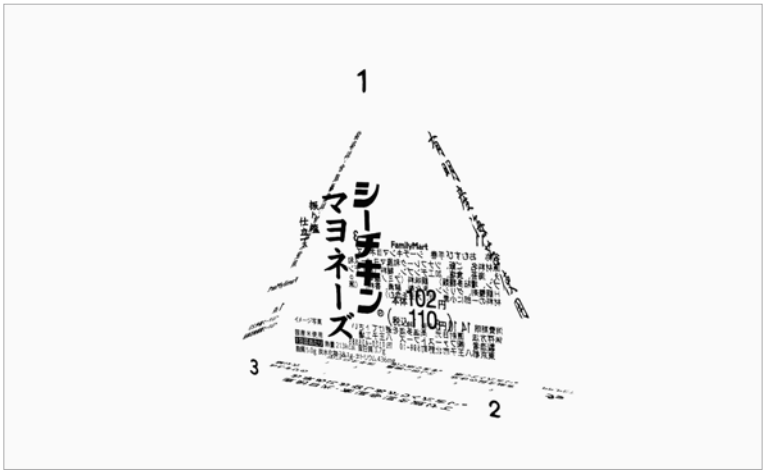
主な展覧会は、「助手展2014 武蔵野美術大学助手研究発表」（武蔵野美術大学美術館、2014年）、「TELLSIT / LIVE AND LET LIVE」（東京コレクション 服飾パーツ提供、2013年）、「助手展2013 武蔵野美術大学助手研究発表」（武蔵野美術大学美術館、2013年）、「TELLSIT / THE SUNLIGHT RING」（東京コレクション 服飾パーツ提供、2012年）、「TELLSIT / PRESSURE」（東京コレクション 服飾パーツ提供、2012年）、「Hongik University Internatinal Exbition」（Hongik University/ソウル、2012年）など。

it 02
真鍮、コンクリート、パール
2014年

小林　なつみ

1988年埼玉県生まれ。2013年武蔵野美術大学大学院造形研究科デザイン専攻基礎デザイン学コース修了。現在、基礎デザイン学科研究室助手。

主な展覧会は、「平成24年度 武蔵野美術大学造形学部卒業制作・大学院修了制作優秀作品展」（2013年）など。



sample 04
3DCG
2014年

佐藤　希

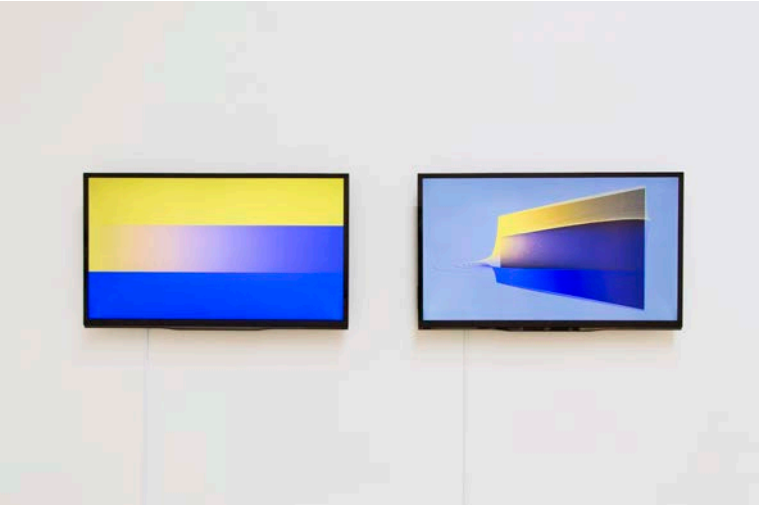
1986年神奈川県生まれ。2013年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻日本画コース修了。現在、日本画学科研究室助手。

主な展覧会は、「第49回レスポワール展」（銀座スルガ台画廊、2015年）、「第41回創画展」（東京都美術館、2014年）、「向こう側のリズム-呼応する絵画-」（MAKII MASARU FINE ARTS、2013）、「第39回創画展」（東京都美術館、2012年）、「第38回春季創画展」（日本橋高島屋、2012年）、「第20回奨学生美術展」（佐藤美術館、2011年）、「第44回昭和会展」（日動画廊、2009年）など。

いとなみは繰り返す
岩絵具、水干絵具、油絵具、雲肌麻紙
2015年

柳川　智之

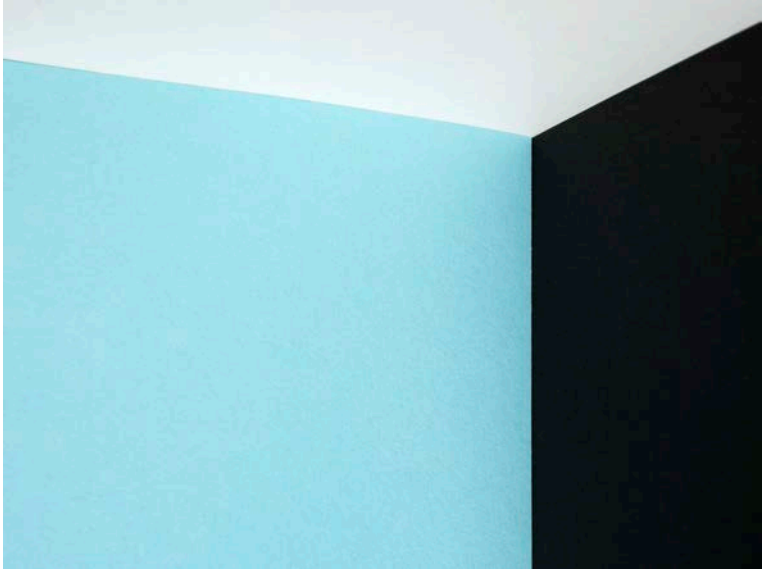
1985年愛媛県生まれ。2010年武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。2013年情報科学芸術大学院大学[IAMAS]メディア表現研究科修了。現在、視覚伝達デザイン学科研究室助手。
主な展覧会は、「網膜思考」(art space kimura ASK?、2015年)など。



Valeur
ディスプレイ、Mac mini、紙、アクリル
（大原崇嘉と共作）2014年

赤羽　佑樹

1987年栃木県生まれ。2010年武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。2012年武蔵野美術大学大学院造形研究科デザイン専攻写真コース修了。現在、芸術文化学科研究室助手。
主な展覧会は、個展「Uncertain Objects」(tokyoarts gallery、2015年)、「3331 Art Fair 2015-Various Collectors' Prizes-」(3331 Arts Chiyoda、2015年)、「EINSTEIN PHOTO COMPETITION X2 WINNERS EXHIBITION」(KATA GALLERY、2013年)など。

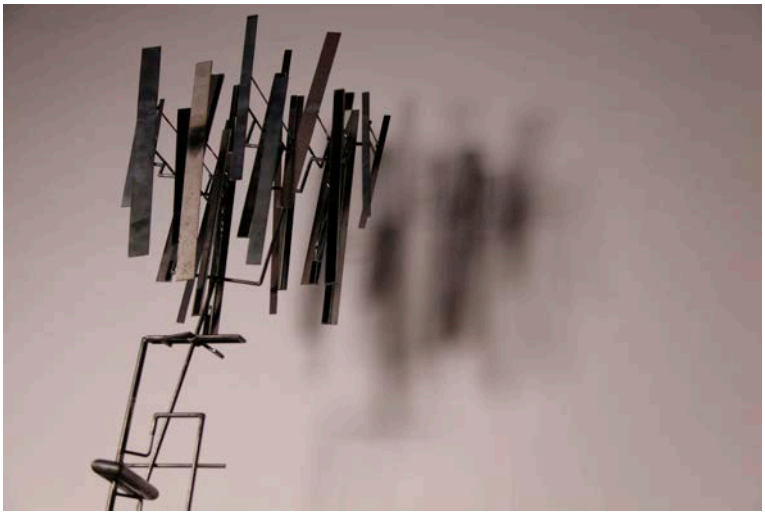


Uncertain Objects
写真（インクジェットプリント）
2014年

開田　ひかり

1988年千葉県生まれ。2012年武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業。現在、空間演出デザイン学科研究室助手。
主な展覧会は、「TOKYO art crossing BERLIN」(neurotitan gallery/ベルリン、2015年)、「JART 4th JAPANESE EMERGING EXHIBITION」(Williamsburg Art & Historical Center/ニューヨーク、2014年)など。

［プレス用図版について］
このリリースに掲載されている
図版をプレス掲載用 に
データにてご用意しております。
ご希望の方は、
担当までお問い合せ下さい。



GAP
鉄、鏡、モーター
2015年

MAU M&L

出品作家

赤羽佑樹、阿部彩葉子、いしかわみちこ、市川みづ樹、入江剛史、臼田桃子、江南仁美、正親優哉、大原崇嘉、奥野修平、小崎慎介、越智也実、上村尚子、北嶋勇佑、国沢知海、小林なつみ、齋藤大路朗、坂本美紗希、佐藤希、杉内あやの、髙橋佳子、田村佳丈、土屋由貴、渡慶次賀邦、中島真太、二宮陽香、萩谷但馬、長谷川依与、早川祐太、樋口晃亮、日比谷泰一郎、日吉洋人、開田ひかり、福士遥、星野曜、星野耕史、増田悠紀子、松尾勘太、松崎雄一、松田瑞季、松本優樹、宮入文香、森田洋生、門馬英美、八木貴史、柳川智之、矢野恵利子、山本麻璃絵、吉松遼平（以上49名、五十音順）

関連イベント：

オープニングイベント
［日時］2015年11月28日（土）17:00〜
［会場］武蔵野美術大学 美術館・図書館

アーティストトーク
［日時］2015年12月5日（土）14:30〜
［会場］武蔵野美術大学美術館
［出演］赤塚祐二（本学油絵学科教授／美術館・図書館長）［司会］
赤羽佑樹（本学芸術文化学科研究室助手）
奥野修平（本学映像学科研究室助手）
佐藤 希（本学日本画学科研究室助手）
八木貴史（本学彫刻学科研究室助手）、他
入場無料／先着順（予約不要）／直接会場へお越しください
※イベント詳細は決定次第、当館ウェブサイトと展覧会特設サイト（http://ra.musabi.ac.jp/2015/）にてお知らせします。

会　　期：2015年11月24日（火）–12月19日（土）
休 館 日：日曜日　※12月13日（日）は特別開館
開館時間：10:00〜18:00（土曜日、特別開館日は17：00閉館）
会　　場：武蔵野美術大学美術館 展示室1、2、4、5 アトリウム1、2
入 館 料：無料

主　　催：武蔵野美術大学 美術館・図書館
企　　画：助手展2015運営委員会

–

本展の問い合わせ：
武蔵野美術大学 美術館・図書館
美術館広報担当（植松、鳥越）
東京都小平市小川町1-736
mail: prmsm@musabi.ac.jp
tel: 042-342-6003　fax: 042-342-6451
http://mauml.musabi.ac.jp/
http://ra.musabi.ac.jp/2015/（特設サイト）

［同時期開催展覧会］
「池田良二 — 静慮と精神の息吹」　11月24日（火）—12月19日（土）